包括的な学校改善の視点：教員の資質能力の向上

ＩＣＴを活用した教育の充実を目指した学校モデル

中核校	厚沢部町立厚沢部小学校	指定校	厚沢部町立館小学校、厚沢部町立鶉小学校 厚沢部町立厚沢部中学校

■　構築した学校モデルの具体

○　１人１台端末を活用した授業改善

・タブレット端末を活用し、児童同士が意見や考えを相互に把握できるようにするなどの活動を通して、全学級で協働的な学びを推進する。
・動画や音声の再生、書き込みの容易さ等、デジタル教科書の特性を生かして、児童が主体的に学ぶことができるよう、ＩＣＴを活用して教材を提示しながら、教科指導を行う。
・小学校における教科担任制（理科）の実施により、タブレット端末を活用したまとめや考察の蓄積、写真や動画による観察記録、インターネットを活用した調べ学習等の学習活動の工夫を行い、教科指導の質を高める。

【教科担任制によるＩＣＴの活用】

○　１人１台端末の日常的な活用による学びの充実

・MEXCBTを活用し、「ほっかいどうチャレンジテスト」等の各種学習問題に取り組むことで、児童のつまずきや学習状況を把握し、授業改善に活用した。
・家庭学習において、教師が反転学習につながるよう児童に対して次時の内容と関連付けた課題を提示するほか、学習の定着を目指して、アプリを使った繰り返し学習に取り組む。
・委員会活動や係活動において、児童同士が端末を活用し、活動内容の情報伝達やポスター等の作成を行うことができるようにする。
・インターネットの安全な使い方、情報の正確な評価、プライバシー保護の重要性について、日常生活とリンクさせ、デジタルリテラシーの向上を目的とした取組を行う。

○　教員のＩＣＴ活用指導力などの向上

・研究部が中核となり、定期的なＩＣＴ機器等の校務及び授業での活用に係る研修を実施する。
・研修において、ＩＣＴの活用に関する情報や活用スキルを教職員間で共有するとともに、各種研修に参加した教職員が研修内容の還流を図る。
・研修等に係る資料について、クラウドを活用して職員間で共有する。

【ＩＣＴ機器のスキル共有を図る実践研修の様子】

■　学校モデルの構築に向けた取組の具体

〔管理職の取組〕

・職員会議等の機会を用いて、思考力、判断力、表現力等の資質・能力の育成に向け、効果的な学習過程について具体的な協議を行うなど、授業改善について省察、概念化する機会を設けた。
・管理職がファシリテーターとなり、授業改善の現状と課題を整理し、授業分析の視点について指導助言を行った。

【意見交流や振り返りの取組】

〔専科教員の取組〕

・全国学力･学習状況調査（理科）において、記述式の問題に課題が見られたことから、児童の記述力を高めるため、ＩＣＴを活用して他者参照できるようにし、意見交流や振り返りを通して、児童が自らの考えを整理し、友だちの記述と自分の記述を比較することで自分の考えを深められるよう授業改善を図った。

■　各指定校への学校モデルの普及方策

○　公開研究会（年に一回）において、１人１台端末を活用した授業を公開し、児童の資質・能力の育成に向けた効果的な活用の在り方について具体的な協議を行い、各校の実践で生かすことができる視点を共有した。
○　地域協議会において、効果的な取組事例を共有し、指定校において実践した結果やその改善策について具体的な交流を行った。